

廣瀬幸生教授還暦記念言語学ワークショップ

『三層モデルでみえてくる言語の機能としくみ』

(三層フェスタ)

日時：2016年9月30日(金) 10:00~17:30

場所：つくば国際会議場 小会議室 303

「言語使用の三層モデル」(廣瀬(2016))をテーマにした言語学ワークショップ『三層モデルでみえてくる言語の機能としくみ』(通称:『三層フェスタ』)を上記の日程で開催いたします。意味論や語用論にとどまらず、統語論、形態論、会話分析なども含めたより広い観点から、三層モデルを起点にどのように言語研究の場をひろげていけるのかを考えていきます。別途ご案内の『三層フェスタ』プレワークショップ」とあわせて、ご所属を問わず、多くの方のご来聴を歓迎いたします。

10:00~10:10 趣旨説明

10:10~10:40 基調講演 「自分の言語学—言語使用の三層モデルに向けて—」

廣瀬幸生(筑波大学)

10:45~11:15 第1発表

「言語使用の三層モデルと時制・モダリティ・心的態度」

和田尚明(筑波大学)

11:15~11:45 第2発表

「公的表現としての対話の階層性と英語の3人称代名詞の3分類」

西田光一(下関市立大学)

13:00~13:30 第3発表

「言語使用の三層モデルから見た because 構文」

金谷 優(筑波大学)

13:30~14:00 第4発表

「私的表現と発話行為・私的自己と de se」

岩田彩志(関西大学)

14:15~14:45 第5発表

「反応を要請することと反応すること—幼児の発話行為産出と間主観性」

高木智世(筑波大学)

14:45~15:15 第6発表

「言語使用の三層モデルと形態論」

長野明子(東北大学)

15:15~15:45 第7発表

「あえて生成文法の観点から」

島田雅晴(筑波大学)

16:00~17:30 全体討論

司会 : 和田尚明(筑波大学)

(問い合わせ先: 島田雅晴(文芸・言語専攻))